

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020 年 2 月 8 日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」富谷校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数に加え、児童指導員を1名以上配置（常勤換算による算定）しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		指導室内は、お子様の注意集中のため、飾りつけなどせず、極力シンプルな内装としております。また、お子様に合ったスペースや教材等を提供しており、個別対応にも配慮しております。また、教材や遊具、設備に危険な箇所がないか等を毎日チェックしています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清掃の箇所や手順等を定め毎日清掃・消毒・換気を行っています。また、状況に合わせ、再度消毒を行っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日次・週次で職員参加の MTG を実施しています。半年に1度、教室内全体での目標設定を行い、各自担当を持って実施しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。	

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社 HP にて公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は、利用者・他事業所（同法人）の2者評価をとっております。	第三者による外部評価については現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		1ヶ月の初任者研修を実施し、その後もすべての指導員に継続的に研修をおこなっています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		契約時・計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。また、統一したアセスメントシートを使用しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		毎回指導記録を取り見直すことで、お子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		アセスメントを元に優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定し、個別支援計画に沿って支援をしています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		随時、お子さまの事例を職員間で共有・議論する機会や、ケース検討会を開催しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お子さま一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせて、効果的に楽しく学ば	

				る指導を追求しています。 次の学びにつながる成功体験と達成感を重視し、やりたくないことをやらされるのではなく、お子さまが自発的に適切な行動をとれるよう、学びやすい指導環境を作っています。		
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		お子様の状況や保護者様のニーズに応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた個別支援計画を作成しています。		
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼・終礼を日次で実施し、職員間での情報共有をおこなっています。		
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		朝礼・終礼を日次で実施し、職員間での情報共有をおこなっています。		
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回指導記録をとり見直すことで、お子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。		
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月毎にモニタリングを実施し、見直しの必要性を判定しています。		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が出席しています。必要に応じて、担当指導員が出席しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		事業所に見学に来て頂くなど連携を図っています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		医療職スタッフがいいため、医療的ケアが必要なお子様の受け入れに際しては、主治医等のご意見を確認した上で、慎重に判断しております。	

係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	医療職スタッフがいないため、医療的ケアが必要なお子様の受け入れに際しては、主治医等のご意見を確認した上で、慎重に判断しております。	
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	ご希望される保護者様には、保護者様を通して情報提供・共有を行っています。	
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	ご希望される保護者様には、保護者様を通して情報提供・共有を行っています。	
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修等に参加させていただいています。	
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	ご希望される保護者様には、保護者様を通して情報提供・共有を行っています。	
保 護 者	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		研修等に参加させていただいています。	
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援後にフィードバックの時間を設けております。又、保護者様のご要望に応じて児発管との面談の時間も設けております。	
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		外部で開催するペアレントトレーニング等の研修案内や情報を提供しています。また、支援後のフィードバック時に家庭での対応方法についてアドバイスをしています。	
保 護 者	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		運営規程、利用者負担等について契約時にご説明するとともに、事業所内	

への説明責任等				に重要書類を閲覧できるよう設置しております。	
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画を面談時に説明するとともに、同意を得ています。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		定期的に「ママカフェ」を開催しています。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。また、相談の申し入れがあった場合は、対応の体制を整備し、児発管による保護者面談を行っています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		行事予定や従業員の変更等、都度発信しています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子様・保護者様の状態に応じて、視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。今後も合理的配慮の推進に尽力してまいります。
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	○		お問い合わせがあれば、保護者様の了解を得た上	

				で指導の様子を公開致します。	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。また、閲覧できるように事業所内に掲示しています。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難訓練を実施しています。また、実施内容等を閲覧できるように事業所内に掲示しています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		基本情報を記入して頂き、事前にお子様の状況を確認しています。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で検討、共有しています。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者様へは、契約時に説明を行っています。個別支援計画の記載については、お子様や保護者に事前に了解を得た上で記載していく事になっています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」富谷校 保護者等数（児童数）：18名 回収数：18 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	3	0	0	・動くのが好きな子なのでもう少し広いといいが、集中する為には適切である。	法令を遵守したスペースを確保しております。限られたスペースではありますが、お子様が楽しく活動できるよう工夫して参ります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	0	1	2		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	18	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	1	0	1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15	2	0	1	・同じことを繰り返したり、発展的になっていたり、工夫が感じられる。	その時のお子様の興味・関心に合わせ、効果的に楽しく活動できる課題を考えて参ります。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	3	12	・集団活動があるので、その時に交流があるかもしれない。	月1回の小集団療育にて、お友達との関わりの場を設けております。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	16	2	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	3	0	11		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	3	0	0	・毎回の利用の際に保護者に対しても問いかけや声掛け等して下さる。 ・支援中本人の反応に気になる事があり質問すると、丁寧に対応して下さる。	主に支援後のフィードバック時に相談に応じております。また、相談の申し入れがあった場合は、対応の体制を整備し、児発管による保護者面談を行っています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	4	1	2		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	4	3	11		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	2	0	4		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1	0	2		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	3	0	8		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	16	0	0	2		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	4	0	7		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	2	3	11		

満足度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	18	0	0	0	<p>・とても楽しみにしている。「今日は何をするのかな？」と話している。</p>	<p>お子様一人ひとりの特性やその時の気持ち・興味等に合わせ、効果的に楽しく活動できるようこれからも考えて参ります。</p>
	③	事業所の支援に満足しているか	18	0	0	0	<p>・回を重ねるごとに学びが定着しているように感じる。</p> <p>・1年程通いとても成長したので、とても感謝しています。</p>	<p>お子様一人ひとりが楽しく遊び、楽しく学べる場所や時間を提供できるよう、これからも職員一同力を合わせて考えて参ります。</p>

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。